

令和7年度第2回八代市公民館運営審議会 会議録

日時：令和8年3月19日（木）

13時30分～15時

会場：八代市公民館 会議室

出席委員 松岡委員、徳田委員、豊田委員、倉野委員、丸山委員、多田委員、
小島委員、久木田委員、山田委員

欠席委員 服部委員、奥村委員

事務局 泉公民館長（生涯学習課長）、中川生涯学習推進係長、岡川管理係長、
丸吉主幹、沢田参事、酒井主任、山本主事

司会進行：中川生涯学習推進係長

開会

委員長あいさつ

公民館長あいさつ

議事

1 令和7年度事業報告

事務局説明

（1）生涯学習推進事業～（3）公民館施設整備事業まで資料に沿って説明。

【質疑応答・意見】（抜粋）

A 委員 : 講座の指導者はどのように選定しているのか。

事務局 : 市民ニーズを踏まえ、専門性のある民間事業者や講師に依頼。既存講師に加え、新規講師は紹介等を通じて選定している。

B 委員 : 青少年体験活動事業（キッズチャレンジ）は各事業に何人の職員が配置されているのか。

事務局 : 陶芸教室は生涯学習推進係全員で対応しており、アウトドアスクールは課の職員が交代制で対応、親子体験は生涯学習推進係の職員と専門職員と連携して行っている。

A 委員 : 講師の一覧表はありますか？

事務局 : 現時点では作成していない。

C 委員 : 青少年体験活動事業（キッズチャレンジ）の定員に対する応募状況はどうか。

事務局 : すべての事業で定員を上回る応募あり。定員を定めているものなるべくたくさんの方に参加していただきたいので定員を超えても受け入れられるだけ受け入れている。

D 委員 : ネイチャーあそび講座で大島海の家仰雲亭で行ったと書いてあるが、内容について知りたい。

事務局 : 緒方印刷所が所有する大島海の家仰雲亭を活用し、テント設営や火起こし、マシュマロ焼などの体験活動を実施した。

2 令和8年度事業の計画

事務局説明

令和8年度の各事業経の計画について説明。

【質疑応答・意見】

A 委員 : 陶芸教室の講師はどなたか？

事務局 : 鏡で陶芸クラブをしている園田さんをお願いをしている。

B 委員 : 今年度のまなびフェスタは知名度の高い講師を招待したことで非常に集客力が高く、満席となる状況が見受けられた。集客の需要と会場キャパシティを考慮し、申し込みの早期締め切りなど、より適切な受付体制を検討すべきではないか。

事務局 : 会場の収容人数が消防法により500名と厳格に制限されているため、安全管理上、定員に達した段階での締め切りが避けられない状況である。

来年度予算を睨みながら講師の選別を慎重に行うとともに、今後は抽選制の導入など、満席時でもより公平で円滑に参加いただける運用体制を検討していく。

A 委員 : 文化協会との連携を強化し、講座内容の幅を広げるべきではないか。

事務局 : アンケートに基づき講座を企画しているが、今後は文化協会との連携も検討する

A 委員 : 講座を知らない人が多いため、情報発信の工夫が必要ではないか。

事務局 : 広報紙・SNS・チラシ等を活用し周知している。今後も強化していく。

A 委員 : ピクチャーレールや展示パネルの整備により文化活動の幅が広がるため改善が必要ではないか。

事務局 : 施設整備は制約があるが、要望として関係部署へ共有する。

D 委員 : 八代市全体が文化活動で活発になるように、今でもおでかけ公民館講座やキッズチャレンジで鏡、東陽、坂本行ったりしているのでこのまま続けてほしい。来年度も今年以上の事業を展開してほしい。

3 議題

(1) 講座の受講料について

事務局説明

講座の受講料について意見を伺う。

【質疑応答・意見】（抜粋）

A 委員 : これまで何年間 500 円だったのか。

事務局 : 何年前という明確な期間はわからない。

A 委員 : 値上げの根拠を明確にすべきではないか。

事務局 : 教育財政は結構削られている状況。当課としても値上げはしたくない。しかし、施設老朽化や財政状況によりさらに歳入の確保が必要となった。まずは 600 円に引き上げて様子を見る。

A 委員 : 教育分野の予算確保が重要であり、値上げだけではなく市としての対応も必要ではないか。

事務局 : 予算確保には課題があり、受益者負担の観点から今回の改定を行う。

A 委員 : 無料や低価格すぎると参加意識が低下するため、一定の負担は必要。

A 委員 : 値上げする場合は講座内容の質の向上も必要。

4 その他連絡事項

事務局説明

令和 7 年度熊本県社会教育研究大会・第 70 回熊本県公民館研究大会について報告。

令和 8 年度第 56 回九州ブロック社会教育研究大会 熊本大会について案内。

【質疑応答・意見】

C 委員 : 令和 7 年 8 月豪雨による、八代市立図書館せんちょう分館の蔵書被害はどの程度か。

事務局 : 書棚にあった約 65000 冊は無事だった。床に置いていた分は数百冊が廃棄になった。

閉会